

夕 日 岳

(山行日) 10月26日(月)

(参加者) 2名

(ルート) 古峰ヶ原峠(9:10)行者岳(9:50)大岩山(10:25)唐梨子山(10:50)ハガタテ平(11:05)地藏岳(11:45)三ツ目(12:00)夕日岳(12:15~12:25)地藏岳(12:50)ハガタテ平(13:10)唐梨子山(13:35)大岩山(14:00)行者岳(14:30)古峰ヶ原峠(15:10)

(記録) 当初の計画では5月9日(土)のアカヤシオ・トウゴクミツバツツジを求めての細尾峠から夕日岳を経て古峰神社へ下るお花見コースを計画したのだが、雨天中止。年間計画があるので、中々次の計画を作れないまま秋を迎え、これ以上日程を遅らせないと考えた。40周年記念山行というには恥ずかしいものの、やることに意義があると考え2名での山行実施となった。古峰ヶ原峠の駐車場まで車を入れて歩き出す。古峰ヶ原湿原周辺の紅葉は見頃で、横根牧場への車道を進み右の林道へ入る。西からヘアピン気味に東、北へと林道を進むと左手に行者沼が見え、大天狗大神の鳥居をくぐると細尾峠への道標がある。ここからは尾根道でルートもしっかりしているので迷うことはない。緩やかな尾根の広い道のアップダウンが続き、正面に男体山の雄姿を見ながら進むと、行者平という平坦地があって、急登の先に3等三角点のある行者岳のピークに着く。ここでゆっくり休憩か。この辺になると紅葉も終わりを近づけ、広葉樹の落葉越しに足尾から日光連山の展望が美しい。南側は三枚石方面の展望も望める。ここから下り少し登り返した大岩の下に金剛童子の石祠がある。歩きやすいアップダウンのルートが大岩山、唐梨子山へと続き、急降下すればハガタテ平である。ここからは、古峰神社への下山道が降りている。しかし、ここから地藏岳へは標高差200m、最後のきつい40分の急登。多少疲れも出てくるところだ。地藏岳の山頂には地藏尊が安置されている平地でのんびり休みたくなる。しかし、夕日岳は北東に孤高の独立峰のピークを見せており、尾根伝いに三ツ目まで進み、一度急降下でコルまで下り登り返したところが目的の夕日岳山頂である。この一帯の北斜面はアカヤシオの密林で花の時期はピンクの花で山が一色に染まる最高の時期なのだが、今の時期は山頂の北斜面が切り開かれていて女峰山・男体山・白根山から足尾の山々までの大展望が楽しめ、来てみてよかったことを実感させる。もっと多くの仲間と来たかったと残念。帰りは古峰神社へのルートも考えたが、古峰ヶ原峠まで登り返す時間とピストンの時間差を考え、峠に車を置いてきたことから同じルートを引き返すこととした。帰りはアップダウンの多いコースであり、多少へばりながらの下山までの6時間コースとなった。